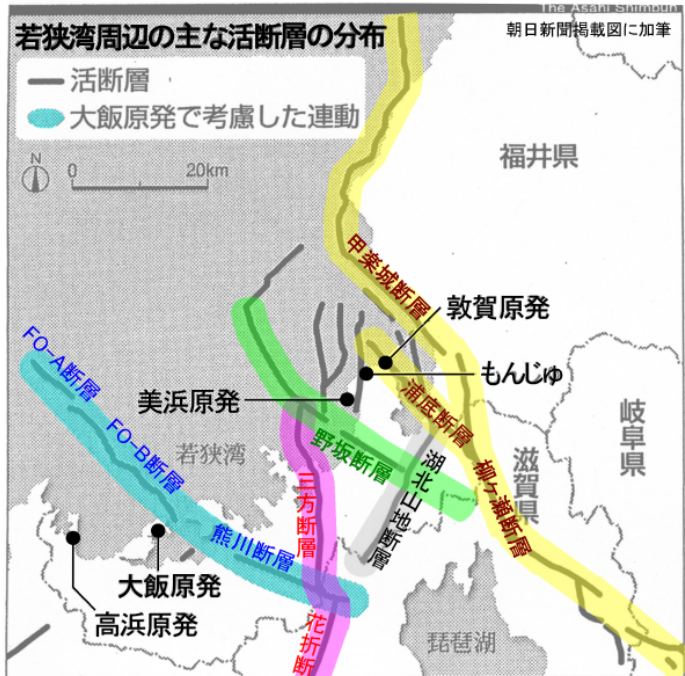
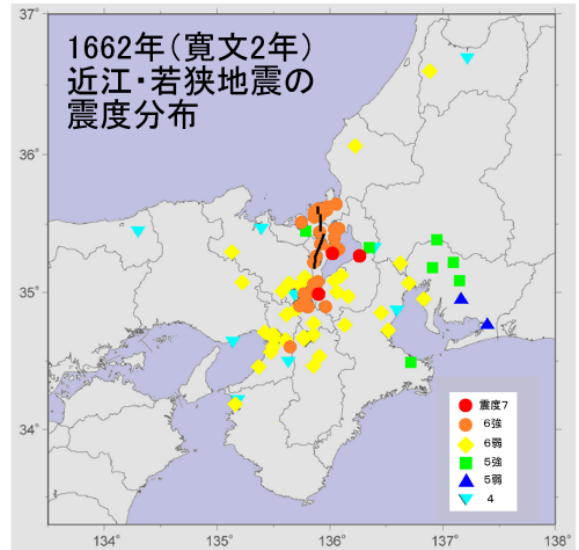


# 若狭湾の活断層と1662年（寛文2年）近江・若狭地震

## 若狭湾の活断層群と、1662年近江・若狭地震



1662年（寛文2年）  
近江・若狭地震の  
震源断層



1662年6月16日（寛文2年5月1日）  
三方・花折断層帯北部で地震発生

三方断層北部（日向断層）の東側が隆起し三方五湖の出口を塞ぎ、周辺低地が水没  
近畿地方北部に大きな被害  
死者700～900人、建物全壊4800戸  
被害は周辺地域に及ぶ。  
岐阜県海津町で堤防決壊。  
長野県阿南町大下条でも地すべり。

若狭湾東部の活断層は、5列の断層帯にまとめられる。

このうち三方（みかた）-花折（はなおれ）断層帯北部は1662年、寛文（かんぶん）2年の近江・若狭地震を発生している。

右側の図は、古文書の被害記事から推定された各地の震度。

長野県下伊那郡阿南町大下条では、この地震の揺れで新第三紀富草層群の地すべりが起こり、深見池ができた。

若狭湾の西方では1927年北丹後地震、1925年北但馬地震、1943年鳥取地震。東方では1948年福井地震が発生している。

